

## 『みやこ学び旅2017 ～幕末維新と大政奉還～』

## 【座学講座・最終旅程表】

※登録確認書記載の該当講座をご確認お願い致します。

日程/時間	3月12日(日)		3月13日(月)		3月14日(火)	
第1講座 09:30-10:50	講義名	新選組から考える(1)	講義名	京都守護職の誕生	講義名	8月18日政変と禁門の変(1)
	テーマ	国事と「志」	テーマ	文久の国政改革	テーマ	文久3年8月18日の政変と公家社会
	講師	奈良勝司(立命館大学文学部日本史研究学域助教)	講師	青山忠正(佛教大学歴史学部教授)	講師	小林文広(同志社大学文学教授)
	講義のポイント	幕末社会では、既存の大名領主制や身分制では対応できない危機が恒常化し、これらの枠にとどまらない形で「志」をもった人々を集めて国事に従事させることが求められた。新選組は出身も身分もさまざまなたがが集結した、まったく新しいタイプの武力集団であった。既存の枠組みをもたないがゆえに派閥や厳しい掟をつくって自らの存在意義と正当性を維持・追及しようとした集団として新選組をとらえ、そこから幕末社会に生じた大きな変化を考えてみたい。	講義のポイント	文久2年間8月、国政改革の一環として、京都守護職が新設され、家門大名の松平(会津)容保が、それに任ぜられた。もともとは、外国軍隊の侵攻に備えて、京都守護の態勢を固めようとしたものである。同じ頃、一橋慶喜が将軍後見職に、越前の松平春嶽が政事総裁職に任ぜられる。翌年3月には、将軍家茂が上洛する。文久の国政改革が始まったのである。	講義のポイント	幕末の政変について、京都における公家社会の変容と関わらせながら考える。文久3年8月18日の政変により、長州へと落ちのびる公家たちが妙法院を起点とした意味についても考える。講義の素材として幕末の日本画を活用する。
	休憩		休憩		休憩	
第2講座 11:00-12:20	講義名	新選組から考える(2)	講義名	一会桑勢力と政局の展開	講義名	8月18日政変と禁門の変(2)
	テーマ	「勤王」と「佐幕」	テーマ	会津容保の悲運	テーマ	禁門の変と京都町人の動向
	講師	奈良勝司(立命館大学文学部日本史研究学域助教)	講師	青山忠正(佛教大学歴史学部教授)	講師	小林文広(同志社大学文学教授)
	講義のポイント	新選組は京都守護職松平容保のもとで徳川の体制維持に力を尽くしたが、同時に近藤勇は強力な「勤王」思想の持ち主でもあった。一方、元治元年以降に新たに入隊して組の大きな力となった伊東甲子太郎の一派は、「勤王」思想に依拠するあまりに分派行動を起こして御陵衛士となり、近藤らに肅清されることとなる。新選組をめぐる様々な動きや葛藤をみることで、「勤王」と「佐幕」が混じり合い、交錯する様子とその意味を考えてみたい。	講義のポイント	外国軍隊の侵攻に備えた京都守護職だったが、実際にはその恐れがないことが明らかになるにつれて、松平容保と会津藩は、京都に常駐する徳川方の軍事力として、大きな政治的役割を果たすようになった。やがて、慶応元年までには、会津は一橋や桑名とともに朝廷を確保し、反徳川の立場に立つ薩摩藩・長州藩からは、最大の敵対勢力とみなされるようになる。	講義のポイント	幕末の政変について、京都における町人たちの動向と関わらせながら考える。禁門の変によって発生した大火とその後の復興について、鳩居堂を中心にして述べる。講義の素材として、可能であれば大河ドラマの映像を活用する。

日程/時間	3月15日(水)		3月16日(木)		3月17日(金)	
第1講座 09:30-10:50	講義名	二条城と大政奉還	講義名	坂本龍馬(1)	講義名	西京から東京へ
	テーマ	慶喜が返したものは？	テーマ	坂本龍馬の手紙を読み解く	テーマ	いわゆる東京遷都について
	講師	青山忠正(佛教大学歴史学部教授)	講師	宮川禎一(京都国立博物館上席研究員)	講師	青山忠正(佛教大学歴史学部教授)
	講義のポイント	慶応3年10月14日、徳川慶喜は、天皇に対し、「政権」を返上するとの上表を呈した。その前日には、在京40藩の重臣を、二条城に集め、「政権」奉還の計画を公表し、意見を徴していた。「政権」奉還は、諸大名側の意向を踏まえたうえで行われたのである。それでは、慶喜が天皇に対して返上した「政権」とは、具体的にどのようなものだったのだろうか。	講義のポイント	幕末の志士坂本龍馬(1835-1867)は薩長同盟や大政奉還に尽力し日本の新時代の成立に貢献したとされる。講義では残された坂本龍馬の手紙のいくつかを取り上げて解説・解説し、龍馬が歴史に果たした行動の裏で何を感じていたかを読み解いてみたい。特に不思議な表現の手紙に隠された龍馬の真意を探り、彼自身の人間性の本質を考えてみたい。	講義のポイント	江戸時代の天子は、御所から外に出ることはなかった。慶応4年(明治元年)になると、新政府の首脳は、その天子を、近代国家の元首にふさわしい天皇に作り替えようとした。御所のうちにいるどころか、国内を積極的に歩き廻り、さらには、外見もヨーロッパ風を模した天皇である。明治2年、首都を西の京から東の京に改めたことも、その一環であった。
	休憩		休憩		休憩	
第2講座 11:00-12:20	講義名	王政復古政変	講義名	坂本龍馬(2)	講義名	欧風化する天皇
	テーマ	政変の背景と政治過程	テーマ	新たに出現した龍馬史料	テーマ	文化と価値観の変容
	講師	青山忠正(佛教大学歴史学部教授)	講師	宮川禎一(京都国立博物館上席研究員)	講師	青山忠正(佛教大学歴史学部教授)
	講義のポイント	慶喜による大政奉還を受けて、薩長芸3藩は、武力を背景にした宮中政変の具体化を図った。朝廷内で、これに応ずるのは、天子(明治天皇)の外祖父、中山忠能はじめ、岩倉具視ら、ごく少数である。慶応3年12月9日、薩摩を中心とする兵力は、禁裏諸門を封鎖し、そのなかで、限られた諸侯と親王・公卿だけで、新政府の樹立が決定された。	講義のポイント	この21世紀にもなっていくつか龍馬の手紙が発見されたり、龍馬の刀に関する研究が進んだり、関連する新資料が出現したりと新たな知見が複数加わってきた。講義ではそれらの龍馬にまつわる新史料の出現経緯やその内容を紹介するとともに歴史研究における史料調査の意義を述べることにする。	講義のポイント	明治4年11月、岩倉具視を団長とする使節団が、米欧に向けて横浜を出港した。これと同じ頃、明治天皇は初めて写真を撮られた。さらに翌年、ヨーロッパ諸国の元首にならって、公式に天皇の写真撮影が、和装で行われ、ついで、明治6年には軍服姿が撮影され、広く流布した。明治4～6年は、文化的な価値観の欧米化という意味で、大きな画期だったのである。

※開校式・基調講演、修了式、フェアウェルパーティの参加は無料ですが、予約制となり予約済みの方は登録確認書に記載されておりますので、ご確認お願い申し上げます。

3月11日(土) 開校式・基調講演	3月17日(金) 修了式・フェアウェルパーティ
<p>開校式 14:00～14:05 はじめに(JTBより)</p> <p>14:05～14:30 ご挨拶 「京(みやこ)の地で学ぶ意義」 平安女学院 理事長・学院長・大学学長 日本おもてなし学会 代表理事・会長 山岡景一郎 氏</p> <p>14:30～14:45 平安女学院大学国際観光学部 「レセプションクラブ」の紹介 休憩</p> <p>基調講演 14:45～15:45 「大政奉還を学ぶ意義」 佛教大学歴史学部教授 青山忠正 氏 場所:平安女学院大学</p>	<p>12:30～12:40 修了式(修了書授与) 場所:平安女学院大学 室町館C412</p> <p>12:40～12:50 修了講演(ご挨拶) 佛教大学教授 青山忠正 様 場所:平安女学院大学 室町館C412</p> <p>移動</p> <p>フェアウェルパーティ(軽食付) 13:00～14:00 会場:平安女学院大学 食堂エディ</p>

●座学講座 ご注意事項

- ・平安女学院大学 室町館1階エントランスホールにて、講義開始10分前までに受付をお済ませください。座学講座教室は、室町館4階C412となります。※室町館の平面図は当日お渡し致します。
- ・座学全12講座受講者の受付は初日のみとなりますが、講座毎の出欠は、教室前で毎回確認させていただきます。
- ・座学全12講座を全て受講された方に限り、修了証は授与されます。
- ・各座学講座単体にてお申込みの方の受付は受講日毎に必要なとなります。
- ・同日の座学第1講座、第2講座、課外講座A～Cのいずれかを、合わせてお申込みの方は、まとめて受付をさせていただきます。
- ・座学講座は30分以上の遅刻後の入室は認められません。
- ・筆記用具の貸出は行っておりませんので、ご自身にてお持ちいただきますようお願い申し上げます。
- ・お荷物および貴重品のお預かりはしておりませんので、各自で管理いただきますようお願い致します。
- ・1階食堂エディはご利用いただけますが、お食事の提供はしておりません。お食事をされる場合は、お持ち込みいただきますようお願い致します。

株式会社JTB西日本MICE事業部(みやこ学び旅2017事務局)  
大阪府 大阪市中央区南久宝寺町3丁目1番8号 MPR本町ビル7階  
電話:0570-055-668 営業時間:9:30～17:30(土・日・祝日は休業)  
総合旅行業務取扱管理者: 西楨 優 担当者:内田/今村

みやこ学び旅2017



京都検定部 京都検定支援講座  
本講座は京都検定を応援しています